

## 地域水田農業ビジョン策定に係る取組事例

**市町村名** 新潟県西蒲原郡弥彦村

☆新潟県のほぼ中央、蒲原平野の北西に位置しており、農業・観光（弥彦神社・温泉）の村。

☆米生産の過半を特別栽培米として取組み、消費者（東都生協）との交流も積極的に推進。古くからのえだまめ産地を一層発展させるため「弥彦むすめ」としてブランド化を推進。



### 取組のポイント

☆生産者から温泉観光組合・管理栄養士など幅広い者を構成員とする弥彦村ビジョン策定検討委員会によるビジョンづくりを推進

☆村内全農家に対し今後の経営意向や集落の担い手等についての意向調査を実施

☆米（特別栽培米）、大豆、えだまめ（「弥彦むすめ」）を中心に特色ある産地化を推進

### 取組のキーワード

★★農業・観光等地域関係者が一体となったビジョンづくり★★



(消費者との交流)



(えだまめ「弥彦むすめ」の生産)

## 取組内容

- 15年8月にビジョン策定検討委員会を立上げ、9月に全農家に対し経営規模の拡大や生産調整の取組み・担い手について意向調査を実施。
- 11月に調査結果を集落にフィードバックし、集落座談会を通じて意見集約と合意形成に取り組む。12月に検討委員会を開催してビジョン素案の策定・検討。16年3月の協議会でビジョンを決定する予定。
- 特別栽培米の取組の推進や生協とのタイアップによる販売ルートの開拓、稲刈り交流会を通じた消費者との交流を図り、売れる米づくりを推進。
- 米以外の作物では作物生産としては、これまで取り組んできたえだまめと大豆の産地化を推進。えだまめは、収穫・調整作業の改善と品質の高位平準化により「弥彦むすめ」ブランドを確立。大豆は、高品質化への取組みと味噌・豆腐等の加工品の製造・販売（学校給食・温泉街での販売）等による高付加価値化を検討。
- 担い手は、各集落で担い手候補を選定し、集落での合意形成を推進。

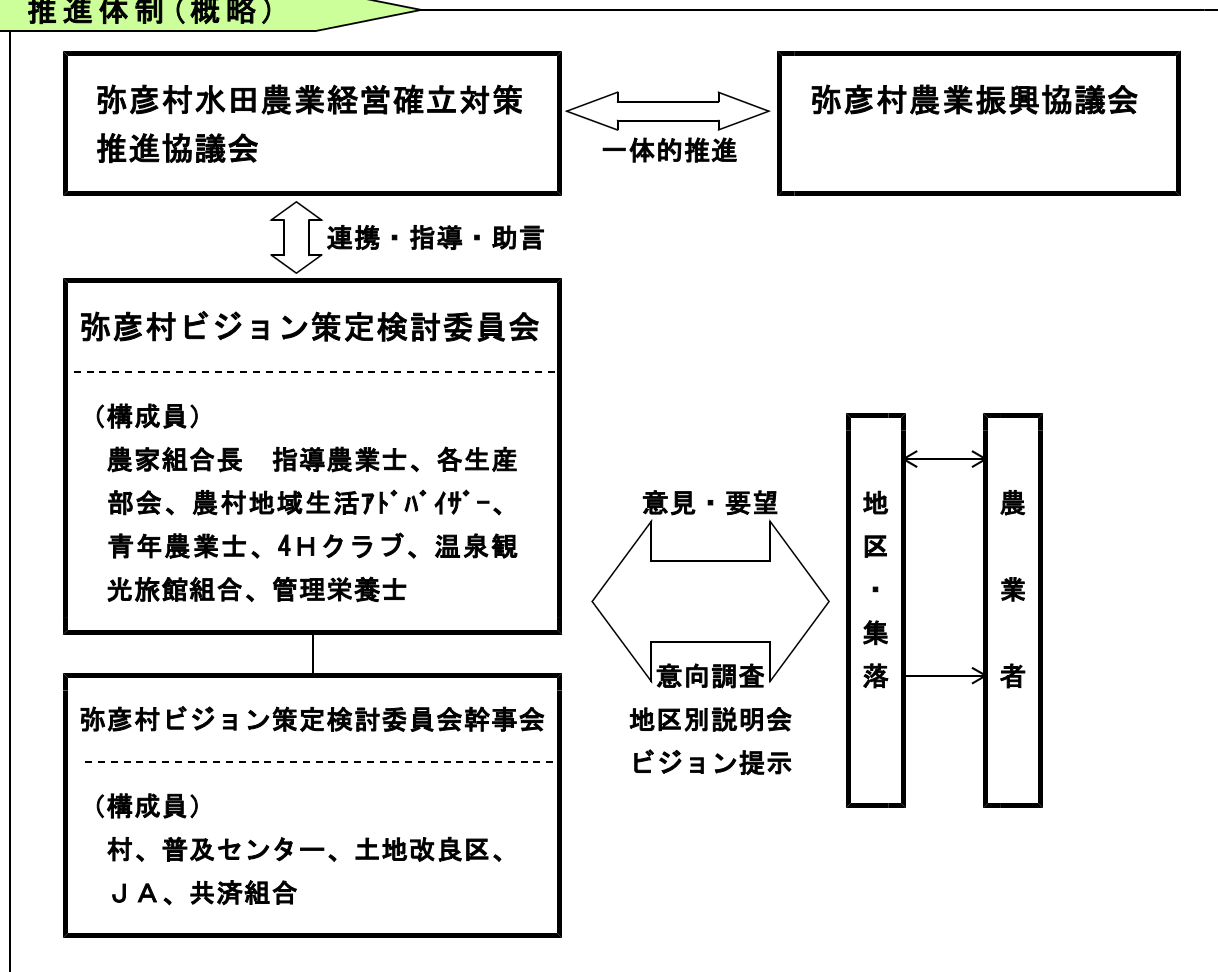
## 地域からのメッセージ

- ・弥彦村は自然環境に恵まれ、佐渡・弥彦・米山国定公園に指定されています。また、越後一の宮である弥彦神社を中心に全国から年間200万人を超える観光客が訪れる農業と観光の村です。
- ・農業生産の太宗を占める米は特別栽培による安全・安心な米づくりと環境保全型農業を推進しており、古くからの転作作物であるえだまめは「弥彦むすめ」としてブランド化に取り組んでいます。
- ・水田農業ビジョンはこれまでの産地化への取組を基にして、これから集落段階での十分な話し合いによる担い手の明確化等の合意形成と地元観光産業との連携強化等を進めていくこととしています。

## 策定スケジュール

- 15年 8月 弥彦村水田ビジョン策定検討委員会を設立
- 9月 全農家（615戸）に対し経営規模の拡大や生産調整作物の取組内容・担い手についての意向調査を実施。
- 10月 意向調査回収・とりまとめ
- 11月 意向調査結果を集落に配布するとともに地区説明会を実施  
地区説明会での意見取りまとめ（～12月）
- 12月 検討委員会の開催（**ビジョン素案検討**・16年度生産調整方針）
- 16年 1月 農業振興協議会・水田農業経営確立対策推進協議会（**ビジョン素案協議**・16年度生産調整方針）
- 2月 地区説明会（**ビジョン素案提示**・16年度の生産調整方針）  
検討委員会（**ビジョン案協議**）
- 3月 水田農業推進協議会（**ビジョン決定**）

## 推進体制（概略）





(弥彦神社大鳥居と観光客)



(弥彦村の水田)